

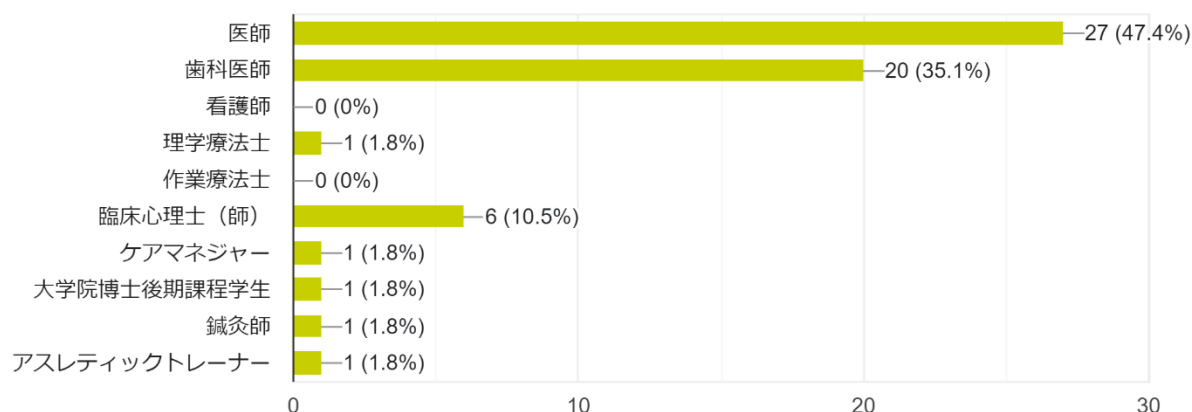
# 頭痛セミナー 「かかりつけ医のための頭痛診療ファーストステップ」 アンケート集計結果

2022年9月4日(日) 10:00~13:00 (ハイブリッド開催)

参加者数 計 92 名 (オンライン 82 名 現地参加 3 名 登壇者 7 名 )

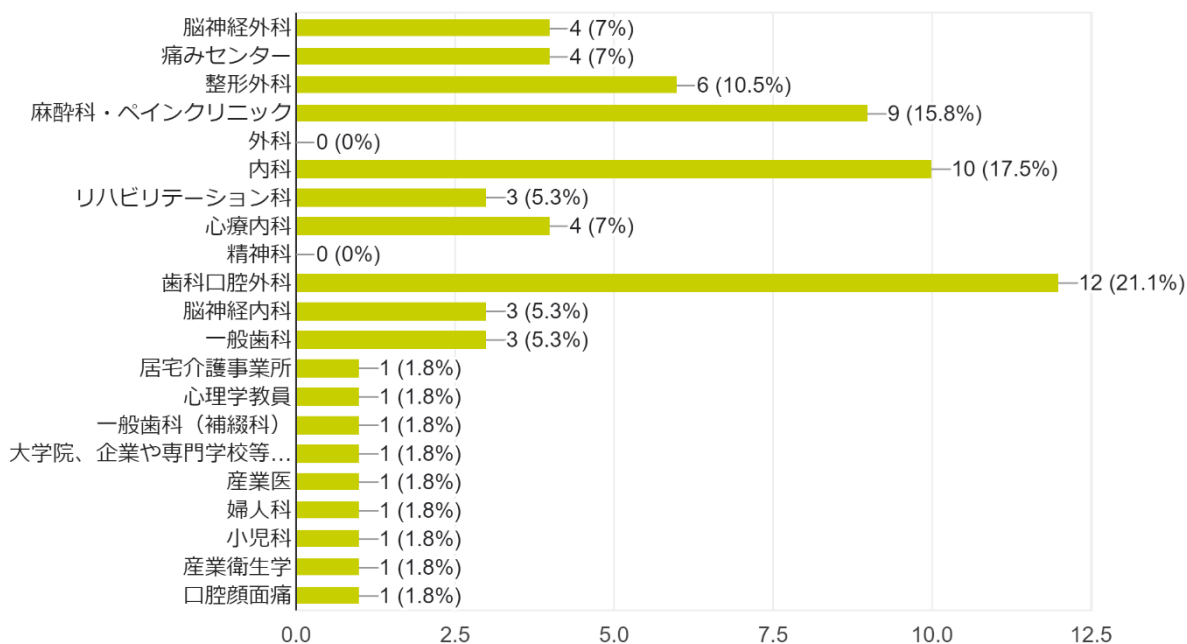
①職種を教えてください。

57 件の回答



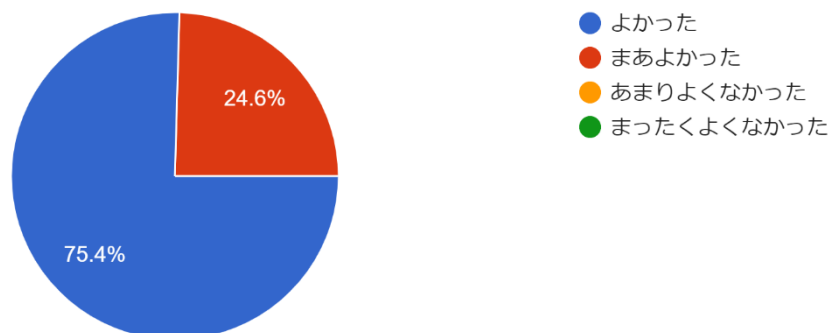
②所属科 (または関わりのある診療科) を教えてください。

57 件の回答



③今回のセミナーの感想を教えてください。

57件の回答



④今回のモデル事業セミナーの良かった点を挙げてください。

- ・松森先生の講義がわかりやすかったです。
- ・行動療法の併用
- ・頭痛に関する初学者にもわかりやすい講演でした
- ・集学的治療
- ・二次性頭痛の鑑別や頭痛のスティグマが勉強になった
- ・各パートが非常に良くまとめられていた。
- ・頭痛薬の新しい情報もお聞きすることができた
- ・現場の悩みに即していて、最新の情報も盛り込んでくださっていて役に立つと思いました。
- ・歯科医なので直接頭痛診療に携わることはありませんが知識として頭痛診療について知ることができた点。
- ・とても勉強になり、日々の診療の参考となる多くの知恵をいただきました。どうもありがとうございました。
- ・メーカーの影響がない
- ・簡潔的にまとめていただいていたいて、知識の整理になった。ありがとうございました。
- ・頭痛の種別の違いや誤解されやすい点を詳しくうかがえて参考になりました。
- ・認知行動療法について、おおくの気付きをお示しいただきました。患者さんを御紹介するにはどうしたよいのでしょうか？
- ・口腔顔面痛専門医にも分かりやすく有益なセミナーであったこと
- ・幅広く頭痛の基本的な内容が学べた事が良かったです。
- ・各頭痛についてまとめてわかりやすくご講義くださり、ありがとうございました。先生方

のご経験された症例について伺うことができ、大変興味深かったです。そして集学的診療のお話まで伺うことができ大変勉強になりました。ありがとうございました。

- ・柴田先生がご講演の中でおっしゃってくださった、ためしてガッテンなどの患者さん向け資料をいただくことはできますでしょうか？ご検討よろしく申し上げます。
- ・内容が分かり易かったです。自分の診療が間違えてないことも確認できました。
- ・いつも第一線で患者さんの治療をされている先生方から理論と臨床現場の実経験の両方からお話いただけたことが学びになりました。
- ・頭痛についての説明を分かりやすくしていただきました
- ・ウェブセミナーなので参加しやすかったです。
- ・内容がわかりやすく、診療の際の気を付けるべき症状など知ることができた。
- ・二次性頭痛との鑑別、CGRP 関連抗体製剤、片頭痛と緊張性頭痛の重なり
- ・わかりやすかった
- ・症例を聴くことができた
- ・オンラインで参加できたのでとても参加しやすく有意義でした。
- ・二次性頭痛の解説
- ・痛みに対しての取り組みをされているところ
- ・実臨床に非常に参考になりました
- ・基本的な事が詳しく説明されて理解しやすかった
- ・内容が具体的でわかりやすい
- ・色々な方面から痛みの頭痛のアプローチが聞けたこと。
- ・頭痛という領域は発展途上の領域であるということが分かってよかった。
- ・生物心理社会モデルに基づいていたから
- ・頭痛の日常診療に役立つ内容だった。
- ・判断根拠が箇条書き一覧で、項目は多いが、一目で目を通せる講義が多かった
- ・頭痛の基本的な知識の確認に非常に役立ちました
- ・歯科ゆえ 頭痛診療を直接行わないが、顎顔面痛に重なる場合も散見するので このように系統だって簡潔明瞭に講演いただき、知識の整理に役立った。
- ・二次性頭痛について勉強になった

⑤慢性の頭痛治療の課題・問題についてご意見があればお願いいたします。

- ・集学的治療を確立させるのがなかなか難しい点です
- ・集学的治療必要な患者さんを、どのように集学的治療に持って行けば良いのか、具体的な方法がわからない
- ・内容豊富で有難いのですが、講師の先生方皆、早口でとても速く進むので、私の頭では理

解が追いつきませんでした。又、事前に印刷するのに時間がかかる為、スライドの背景は黒地の小さい字体ではなく『白地』でお願いしたいです。菊井先生の資料が一番見易く、書き込みやすく助かりました。又、恐縮ですが、高橋先生のスライドの5枚目の3種の頭痛の違いについてのスライドで、イラストの下の3種の違いについての『一覧表』を午後の部か改めて、ダウンロードできるようにして頂けませんでしょうか？ よろしくお願い致します。貴重な学びの場を有難う御座いました。

- ・セミナーの質問にもありましたが、やはり、既に薬漬けになっているのを外していく難しさを感じています。
- ・器質的疾患がない場合、鍼灸治療も選択肢の一つだと知っていただきたい。
- ・痛みの度合いの個人差を、客観的な評価ができるようになれば良いと思いますが、ガイドラインに乗らない、頭痛対策に効果的な方法の議論
- ・医療の方を対象にしているためか、言葉等が分かりづらいところがあった。
- ・集学的治療を開業医がどのように関わらせてもらえるか
- ・CGRP が効果がない場合どのように対応するか
- ・今回はかかりつけ医さん向けのお話で、わかりやすく丁寧なご説明を聞いたのが私にも勉強になりました。また、どの演者の先生も、最後は「うまくいかない事例もある」と言われていましたが、やはりそこは共通認識となっているように思います。柴田先生のお話にあったように、ストレス、精神、心理社会的な要因が影響し、パーソナリティや生活・暮らしに関連して、いわば医療の範疇を超えて、課題のある事例も多いものと推察します。この点についても、医療として何ができるかを扱っていただけるテーマで開いてくださると、積極的に参加させていただきたいと思います。
- ・認知行動療法がうまくいく事例とそうでない事例の違いなど
- ・集学的治療を行うにしても、それを行える施設や人材が少ない
- ・いろんな職種との連携が不十分

⑥今後どのような企画を希望されますか。

- ・歯痛と頭痛、慢性痛の関わりについて
- ・実際の集学的診療のロールプレイ企画など、実践が目の前で理解できる企画
- ・高橋先生・柴田先生の御講演を、更に掘り下げて教えてくださればと思います。
- ・口腔顔面痛学会とのコラボ企画
- ・本日のように、先生方がご経験されたご症例などご提示いただけると、大変参考になります。
- ・今日のセミナーで、最初の方の質問とご回答の両方の音声が入っていませんでした。次の方から音声が入りましたので、機械の操作をしている方は気づいておられたと思い

ますので、司会の方に連絡して、その内容を視聴者に教えていただけたらありがたかったです。どんなやり取りがありましたでしょうか？それはともかく、今日のセミナー、ありがとうございました。

- ・今回同様なウェブ形式が良いです。
- ・統合医療の中での頭痛診療
- ・痛みの患者さんの精神的ケア
- ・難病の利用者・家族に対しての支援の仕方当
- ・エコ下神経ブロック
- ・他職種のコラボレーション、難治事例などを希望します。
- ・スポーツと頭痛との関係性を問う企画を希望します。
- ・先天性無痛覚症患者の心理とケア
- ・痛みとの向き合い方についてより臨床に即した考え方

⑦本セミナーをどこでお知りになりましたか？\_\_

57件の回答

